

一番寒い時期になってきた。

2月を迎えました。一年で一番短い月です。月初めの節分に恵方巻き等を食べることが慣わしと為りつつあります。販売する方も色々工夫しており、食する方もそれなりの好みで選んでいるのでしょう。バレンタインのチョコのように、段々と当たり前の創られた習慣になるのでしょうか？



先月末に誕生日を迎え、74歳になりました。連日運動をしているのですが、走ることに限っては、もう限界のような状態で、がっくりしているところです。スピードが上がらないのです。脚力の低下で歩幅が伸びないのと、回転数が上がらないからです。2キロ区間を早足で歩き、帰りは全力で走ったつもりで測定したら、なんとその差は、たったの2分でした。雪解けになったら、少しでも一生懸命に努力して今よりは大きな差を語れるようにしたいと密かに策を練っております。



国が進めている在宅医療の方針について。介護を必要としている人が、一旦、医療機関や施設に入院・入所をして一週間も過ぎると、自宅には帰るスペースは無くなってしまふようです。それだけ家庭での介護に関しては、特定の人が犠牲になって行わねば為らない重労働なのです。在宅介護をする・しないは、当事者にとっては、大変な決意であると同時に後々まで尾を引く問題にもなりうるのです。家庭が有り、家族がいるから介護可能と判断するのは、現場を観ていない事から導き出される結論のように思われます。多くの当事者が安心して事に応じられる制度構築が、望まれるところです。

一番寒い時期になってきております。くれぐれも体調をうまく保ち、足元に気をつけて日々をお送り下さい。あたたかい春がすぐ其処にきておりますので……。

平成30年2月9日 院長 清治 邦夫